

2009年度 第2回

一般社団法人環境プランニング学会認定
環境プランナー・ベーシック資格試験

問 題 用 紙

(13時50分説明開始 制限時間2時間)

受験番号	
受験者氏名	



一般社団法人環境プランニング学会

1. 注意・確認事項

- (1) 問題用紙は、3～17 ページ（問題は両面）です。
また、解答用紙は別紙（1 枚で、両面解答）です。
- (2) 問題用紙・解答用紙は持ち帰りできません。試験終了とともに回収いたします。
- (3) 答えは必ず解答用紙の所定の欄に記入してください。問題用紙に記入しても採点の対象になりません。
- (4) 解答用紙には、鉛筆またはシャープペンシル（ボールペンは使用不可）で記入してください。
- (5) 間違っ て記入の場合は、後の残らぬように消しゴムで消してください。
答えが二つ以上読み取れる場合は、採点の対象になりません。
- (6) 解答欄は、1 つの記入欄に1 つの答えを記入してください。二つ以上記入の場合は採点の対象になりません。
- (7) 試験開始後 1 時間以上経過したら、退出が可能です。着席のまま手を上げて静かにお待ちください。試験官が問題用紙・解答用紙を回収した後、静かに退出してください。但し、試験終了時刻の 10 分前からは退出できません。終了時刻まで静かにお待ちください。
- (8) 試験問題の構成は以下の通りです。記入漏れがないように願います。
合計点が 70 点以上で合格となります。

2. 試験問題の構成

問題番号	問題の形式	小 計
第 1 問	× 問題	各 1 点 × 10 問 = 10 点
第 2 問	文中の空欄に適切な語句を選び、その記号を記入する問題	各 1 点 × 10 問 = 10 点
第 3 問	適切または不適切な記述を選択し、その記号を記入する問題	各 1 点 × 10 問 = 10 点
第 4 問	不適切または適切な文章を選択し、その記号を記入する問題	各 2 点 × 5 問 = 10 点
第 5 問	文章の[]にはいる語句を選択しその記号を記入する問題	各 1 点 × 20 問 = 20 点
第 6 問	文章の[]にいれる適切な語句を考え記入する問題	各 1 点 × 20 問 = 20 点
第 7 問	記述式問題：語群にある語句を使用し文章を記述する問題	各 10 点 × 2 問 = 20 点
合 計		100 点

第1問(各1点×10)

次の～までの文章で、内容が正しいものには○、間違っているものには×を
解答用紙の所定の欄に、記入しなさい。

世界の人口は、20世紀の100年間で約2倍になった。

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)は、
企業が率先して環境物品を購入すること義務化した法律である。

トリレンマ(トリプルジレンマ)の構造とは、「経済、環境、資源」の3つがともに
成り立ちにくいという構造である。

都市鉱山とは消費地に近い都市周辺に存在する鉱山であり、これをできるだけ利用
し、輸送エネルギーを削減しようという考え方である。

日本は世界第2位の森林率であるのに、木材の自給率は20%程度であり、木材
輸入に伴う環境負荷は大きい。

地熱エネルギーに恵まれているわが国において、地熱発電所での発電量は風力によ
る発電量の約4倍に匹敵する。

地下5m付近の地中の温度は年間を通じほぼ一定で、関東地方の平地で約15
～18 程度である。

運送業の省エネルギーへの取り組みとしては、効率的運送計画やエコドライブへの
取り組み等があげられる。

資源有効利用促進法とは、資源を有効に利用するために省エネルギーを促進する
ための法律であり、略称で省エネ法と言われている。

燃料電池は、空気中の窒素と酸素を利用して発電する画期的方法として注目されて
いる。

第2問(各1点×10)

次の～までの問いの[]の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の中から1つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に、記入しなさい。

1 kWh発電するために必要な化石燃料が排出するCO₂排出量は、[]が一番多い。

- (ア) 石油火力
- (イ) 原子力
- (ウ) 石炭火力
- (エ) LNG火力

エネルギーの安定的で適切な供給を確保し、新エネルギー等の普及を目的に、電気事業者に対し、一定の割合の新エネルギー等から発電された電力の利用を義務付けた制度を[]という。

- (ア) E P S制度
- (イ) N E G制度
- (ウ) L R T制度
- (エ) R P S制度

外部から電気・熱などの駆動エネルギーを与えて、温度の低い方から高い方へ熱を運び上げる方式を[]という。

- (ア) ヒートテック方式
- (イ) ヒートブリッジ方式
- (ウ) ヒートポンプ方式
- (エ) ヒートパイプ方式

市街地のスケールを小さく保ち、歩いていける範囲を生活圏とし、そこで生活する人達の良好なコミュニケーションをベースとしたコミュニティを[]という。

- (ア) コンパクトシティ
- (イ) スモールシティ
- (ウ) ウォークシティ
- (エ) ガーデンシティ

交流の電気を一旦直流に変え、その直流を必要な周波数の交流に変換して出力する変換器を [] という。

- (ア) ディストリビューター
- (イ) エントロピー
- (ウ) インピーダンス
- (エ) インバーター

太陽熱を直接建物の床や壁に蓄熱し利用する方法を [] システムという。

- (ア) アクティブソーラ
- (イ) ソーラテック
- (ウ) パッシブソーラ
- (エ) サーマルソーラ

世界で排出されている京都議定書で定められた 6 種類の温室効果ガス (G H G) で、炭酸ガス (C O ₂) の次に影響が大きいガスは [] である。

- (ア) 一酸化二窒素 (N ₂ O)
- (イ) 六フッ化硫黄 (S F ₆)
- (ウ) ハイドロフルオロカーボン (H F C)
- (エ) メタン (C H ₄)

日本は [] の後に、大量生産、大量廃棄の社会システムに突入した。

- (ア) 明治維新
- (イ) 日露戦争
- (ウ) 朝鮮戦争
- (エ) 東京オリンピック

製造業における鉄鋼、化学、窯業土石、紙パルプ等の素材系産業のエネルギー消費量は、製造業全体の消費量の約 [] を占めている。

- (ア) 40%
- (イ) 50%
- (ウ) 60%
- (エ) 70%

事業活動に伴う環境負荷と事業活動の成果である製品・サービスの価値を対比し、事業活動の効率性や事業活動と環境活動の両立性を測る指標として[]がある。

- (ア) ファクター
- (イ) イフェクター
- (ウ) エフィシャー
- (エ) フッター

第3問 (各1点×10)

次の～までの問いにあてはまる記述の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

天然資源の枯渇に関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 原油の可採年数は、約40年程度といわれている。
- (イ) 石炭の可採年数は、原油より長く約147年といわれている。
- (ウ) 天然ガスは、近年ガス田の発見が多く、可採年数は180年程度といわれている。
- (エ) 原子力発電に必要なウランは世界的に広く分布しており、可採年数は約84年といわれている。

エコドライブに関する記述で最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) エコドライブの実施は、事故率に特に関係しない。
- (イ) エコドライブは、運転方法・運転技術向上により、安全で燃費向上を目指す目的で実施されている。
- (ウ) 一般にエコドライブを実施すると燃費は向上するが、車間距離が増えるので渋滞の原因になるといわれている。
- (エ) エコドライブは、輸送効率($t \cdot km/h$)が落ちるので、運輸業界ではあまり取り組まれていない。

マテリアル・フローバランスを適正化するための物質フローで、「入口」「循環」「出口」の目標設定に関する記述で最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 目標設定では「入口」は資源生産性、「循環」は循環利用率、「出口」は最終処分量とする。
- (イ) 目標設定では「入口」は資源投入量、「循環」は循環利用率、「出口」は廃棄物発生量とする。
- (ウ) 目標設定では「入口」は資源輸入量、「循環」は循環利用率、「出口」は製品輸出量とする。
- (エ) 目標設定では「入口」は国内資源調達率、「循環」は循環利用率、「出口」は製品輸出率とする

エコロジカルフットプリントに関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) エコロジカルフットプリントとは、人間活動の環境への足跡という意味である。
- (イ) エコロジカルフットプリントとは、人間活動の生態系への依存度を示す指標である。
- (ウ) 現在、一人当たりのエコロジカルフットプリントが最も大きな国はアメリカはである。
- (エ) 一人当たりのエコロジカルフットプリントは2020年には地球上の生産可能な面積を超える見込みである。

生物多様性に関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 日本では、開発や乱獲で多くの野生生物が絶滅の危機に瀕している。
- (イ) 里地里山では、人が入らなくなると野生生物が著しく増える。
- (ウ) 外来種を持ち込むと、在来種の存続を脅かす可能性がある。
- (エ) 急激に地球温暖化が進むと、移動速度の遅い種は絶滅の恐れがある。

仮想水に関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 日本は水資源に恵まれており、仮想水は輸入より輸出が多い。
- (イ) 牛肉は豚肉より、豚肉は鶏肉より生産に必要な水は多い。
- (ウ) 穀物は肉類より生産に必要な水は少ない。
- (エ) 日本が最も仮想水を多く輸入している国は、アメリカである。

環境マネジメントシステムに関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) ISO 14001は、環境マネジメントに関する国際規格である。
- (イ) エコステージは、システムの構築レベルを5段階に分けている。
- (ウ) KESは、京都にあるKES環境機構が認証を始めた独自のマネジメントシステムであり、他の地域環境マネジメントシステムとの相互認証は実施していない。
- (エ) グリーン経営認証は、交通エコロジー・モビリティ財団による交通関係のグリーン経営を認証する制度である。

P D C Aサイクルに関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) P D C Aのサイクルは、品質管理を指導した米国のデミングが、業務を継続的に改善するために提唱した。
- (イ) P D C Aサイクルの考え方は、品質及び環境マネジメントシステムに適用されているが、労働安全マネジメントシステムには導入されていない。
- (ウ) P D C Aサイクルは、計画倒れ、やりっ放しを防ぐために有効である。
- (エ) P D C Aサイクルは1回まわしたら終わりではなく、継続的にまわすことが肝要である。

スローライフに関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) スローライフとは、大量生産・高速型のライフスタイルに対するアンチテーゼといえる。
- (イ) スローライフの考え方には、ものの充足から心の豊かさを志向した生活スタイルがある。
- (ウ) スローライフのスローの部分を増やすことは、生産性を落とすことになり、持続可能という面では相対するものといわれている。
- (エ) スローライフは、効率優先の生活を見直し、ものを大切に自ら創造する文化的な生活スタイルであり、ファスト(fast)に対する言葉として使われた。

モーダルシフトに関する記述で、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 輸送機関別の貨物輸送量の推移では、鉄道による輸送が近年急激に増えており、モーダルシフトが確実に進んでいるといえる。
- (イ) 輸送機関別の貨物輸送量では、100 km未満の近距離輸送はほとんどトラックによっている。
- (ウ) トラックによる輸送は、鉄道輸送に比べt・kmで比較すると、約3.6倍のCO₂を排出している。
- (エ) 内航海運による輸送は最も効率の良い輸送であり、t・kmで比較するとCO₂排出量は鉄道輸送の約半分である。

第4問(各2点×5)

次の～までの問いにあてはまる文章の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

地球環境問題への取り組みに関して、最も適切な文章を1つ選びなさい。

- (ア) 日本で求められる主な地球環境問題は、資源の枯渇と地球温暖化といわれるが、酸性雨や砂漠化に対する対応も国際条約締結に伴い、国内法を作って対応している。
- (イ) 地球の平均気温は、過去100年間に約0.7℃上昇したが、これは緩やかな気温上昇であり、「今までのような高い経済成長のスピードであっても、これまでと同程度の上昇傾向にとどめることができるであろう」ということが、IPCC第4次評価報告書で報告された。
- (ウ) 地球環境問題への取り組みは、それほど歴史があるわけでない。1972年に開催された環境関連の最初の国連主催国際会議である「国連人間環境会議」は、イタリアのローマで開催され、ローマサミットとも言われている。
- (エ) 日本への黄砂の飛来の増加は、主に東アジアや中央アジアのタクラマカン砂漠、ゴビ砂漠の拡大、黄土高原の乾燥化によるものといわれている。近年日本では日本海側のみならず、太平洋側にも飛来しており、東日本より西日本の方が多い。

環境マネジメントシステム(EMS)について、最も適切な文章を1つ選びなさい。

- (ア) 環境への取り組みには、規制的手法、経済的手法、経営的手法があるがISO14001(JISQ14001)環境マネジメントシステムへの取り組みは、経済的な働きかけによる方法であり、多くの組織が取り組んでいる。
- (イ) ISO14001(JISQ14001)規格の序文では、「この規格はあらゆる種類・規模の組織に適用できる」としており、業種・業態、規模を超えた国際規格である。
- (ウ) エコアクション21は、経済産業省が中小企業向けの簡易環境マネジメントシステムとして基準を策定したものであり、環境マネジメントシステムの導入が大企業から中小企業へと移るなかで、比較的安価で、簡易に認証が取れることもあり認証数が伸びている。
- (エ) 環境マネジメントシステムへの取り組みで重要なことは、いわゆる「紙、ごみ、電気」の改善であり、本来業務への取り組みは、環境改善に特に関係しない。

自然エネルギーの利用に関して、最も不適切な文章を1つ選びなさい。

- (ア) 太陽エネルギーの利用法としては、太陽熱温水器のように熱として直接利用する方法と太陽光発電(太陽電池)のように光のエネルギーを電気エネルギーに変換して利用する方法がある。
- (イ) 風力発電は、風の力によって発電機を回して発電する方式であるので、年間を通じて適切な風が吹いている場所を選んで設置することが望ましい。しかし、風力発電装置の設置に関しては、騒音、景観上の問題、バードストライク等の生態系への影響も発生している。
- (ウ) 水力発電は自然エネルギーの利用として、わが国の電力供給量の約3割をまかなっており、石炭・石油・LNG等による火力発電の次に多く、ほぼ原子力による発電と同量である。
- (エ) バイオマスエネルギーの使用は、CO₂を吸収して成長し、それを燃料として燃焼させてCO₂を排出することになる。これは、地球規模で見てCO₂収支を壊さない持続性のあるエネルギーであり、このことをカーボンニュートラルという。

生態系に関して、最も適切な文章を1つ選びなさい。

- (ア) 生態系サービスには、食糧、材木、繊維材料などの供給サービス、気候緩和、洪水調節、水質浄化などの調整サービス、自然の景観を楽しむ観光サービスそしてそれらを支える基盤サービスがある。
- (イ) 高温多湿な熱帯地域で形成される熱帯雨林では、朽木や落ち葉、枯れ枝などの有機物はシロアリや微生物など多くの分解者によって速やかに分解されてしまうため、表土はなかなか形成されない。したがって、樹木の大規模伐採等で表土がいったん失われると生態系はなかなか回復しない。
- (ウ) 生物や生態系を保全するには、遺伝子レベル、種レベル、生態系レベル、そのすべてで多様性を確保しなければならないと言われている。特に遺伝子レベルの多様性を高めるには適度な攪乱が有効なので、外来種の人為的な持ち込みを積極的に行うべきである。
- (エ) 里地里山は、人家の近くにあり、雑木林、水田、畑、ため池、水路、草地在りモザイク状に入り組んでいる。景観の多様性はあるが、人が出入りして農作物や用材を確保する作業を行うため、生き物にとって厳しい生息環境となり、種の多様性は失われる。

企業倫理に関して、最も不適切な文章を一つ選びなさい。

- (ア) コンプライアンスとは「遵守」という意味であるが、対象は法規制であり、社会的規範や企業倫理を守ることは特に含まれない。企業が社会的責任を果たす上で、法順守というコンプライアンスは必須である。
- (イ) 企業の守るべき倫理、規定があっても、倫理綱領の形骸化、社内コミュニケーションの不足、企業利益の最優先という不文律等、倫理遵守に対する阻害要因があると、結局不祥事や事故につながることもある。
- (ウ) 「安全はすべてに優先する」というスローガンを掲げている企業でも、機械が不調でも止めて点検をしなかったり、遅れを取り戻すため無理な運転を行ったり、安全を優先していない行動が積み重なって、労働災害や取り返しのつかない環境事故を起したりすることがある。
- (エ) 企業の社会的責任のひとつには、利益をあげて事業を継続し雇用を確保することがある。そのための利益確保は最優先項目であるが、調達する物品やサービスの外注に際しては、品質確保や自社で決めたグリーン調達基準等は守らねばならない。

第5問 (各1点×20)

次の1～4までの問いの[]の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から1つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 京都議定書に関する次の文章の[]の部分にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

1997年12月に締結された「京都議定書」は、1992年の地球サミットで締結された[]に基づくものである。

京都議定書では、[]という国際的に協調して目標を達成する三つの仕組みが導入されている。

先進国が他の先進国の温室効果ガス削減事業に投資し、削減分を目標達成に利用できる制度を[]という。

また、先進国が開発途上国で温室効果ガス削減事業に投資し、削減分を目標達成に利用できる制度を[]という。

さらに、先進国同士が削減目標達成のために排出量を売買する制度を[]という。

- 【語群】(ア) アジェンダ21 (イ) 気候変動枠組み条約 (ウ) 温暖化防止枠組み条約
(エ) 京都メカニズム (オ) 京都フレンドシップ (カ) 協調削減制度
(キ) JI(共同実施) (ク) CDM(クリーン開発メカニズム)
(ケ) PPM (コ) 排出削減取引 (サ) 排出量取引 (シ) 排出源取引

2. わが国の廃棄物、リサイクルに関する法規制について、次の文章の[]の部分にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

環境基本法の基本理念にのっとり、循環型社会形成推進基本法では、循環型社会の基本原則をさだめている。関連する法規制には、廃棄物の排出を抑制し、その適正処理の実施を目的としている[]があり、また対象事業者に3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組みを求めた[]がある。

さらに個別物品に応じたリサイクル法として容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、建設リサイクル法、[]自動車リサイクル法がある。需要面からの支援としては、国、[]地方公共団体による環境物品の調達の推進を求めたグリーン購入法がある。環境物品とは環境負荷の低減に資する原材料や部品、環境負荷の低減に資する製品及び[]を指している。

- 【語群】(ア) 廃棄物処理法 (イ) 廃棄推進法 (ウ) 3R法 (エ) 資源枯渇防止法
(オ) 資源有効利用促進法 (カ) 自転車リサイクル法 (キ) 食品リサイクル法
(ク) 一般社団法人 (ケ) 独立行政法人 (コ) 役務 (サ) 活動

3. 地域社会での環境への取り組みに関する次の文章の[]の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群から1つ選びなさい。

今こそ、国、[]、企業、市民、すべてのレベルで、それぞれの役割と責任のもとに、総力をあげて環境問題に取り組まなければならない。

[]、企業、市民が連携・[]して、地域で廃棄物の分別による廃棄物排出量の削減、菜の花プロジェクトのような菜種油や[]エネルギー、堆肥としての利用、環境教育などに取り組んで成果をあげている事例等活動が活発化している。

これら地域での循環圏での活動を通じて、地域の健全な[]が形成され、またさらに地域の健全な[]形成が市民個々の自発的な[]への参加を促して、環境問題への取り組みがさらに活発になり、いわゆる好循環の実現が期待される。

- 【語群】(ア) コミュニティ (イ) ブランド (ウ) 出資 (エ) バイオマス
(オ) 地方自治体 (カ) 化石燃料 (キ) ボランティア (ク) 協働(コラボレーション) (ケ) 第三セクター (コ) 共有地

4. 化学物質と環境問題に関する次の文章の[]の部分にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群から1つ選びなさい。

わが国での公害問題を考えると、その多くの原因物質は化学物質である。例えば、水俣病は工場排水に含まれていた[]であり、イタイイタイ病は岐阜県の神岡鉱山の鉱さいから排出された[]が神通川流域の富山県で水田を汚染し、それを食べた人に発症したものである。

食品公害といわれる北九州で発生したカネミ油症事件は、米糠から食糧油製造する工程で、[]が混入したために発生した。

四日市で発生した「四日市ぜんそく」は石油コンビナートにおける[]が原因で発生したものである。

化学物質に起因する環境被害は、世界でも多数発生している。セベソ事件はイタリアのセベソで農薬工場が爆発し、[]が飛散しさまざまな健康被害が発生した。

- 【語群】(ア) アセトアルデヒド (イ) メチル水銀化合物 (ウ) 六価クロム
(エ) PCB (オ) 砒素 (カ) カドミウム (キ) 一酸化炭素
(ク) 二酸化硫黄 (ケ) トリクロロエチレン (コ) ダイオキシン

第6問 (各1点×20)

次の1～4までの問いの[]の部分にあてはまる、最も適切な語句を考え、解答用紙の所定の欄に語句を記入しなさい。

1. 環境配慮製品に関する次の文章の[]の部分に、最も適切な語句を入れなさい。

製品の開発・設計・製造する人たちは、製造時に使用する資源やエネルギーを削減するのはもちろん、その製品の購入者が使用する時のエネルギー消費を少なくすることが重要である。

長期で使用する家電製品や[]、建築物等は、初期にかかる費用と共に、使用段階で消費するエネルギーコストや排出される[]に注目する必要がある。

例えば、建築物のライフサイクルCO₂では、使用段階では初期建設の約4倍のCO₂を排出している。そのため、消費者が商品を購入する時に、機器のエネルギー効率の情報を取得できるように[]が設けられている。これは、消費者に対するエネルギー効率の優れた製品の普及とメーカーの[]の促進を狙ったものである。

またエアコン、テレビ、電気冷蔵庫はエネルギー消費量が大きく、[]の表示に加え年間の目安電気料金、多段階評価制度を組み合わせた[]がある。

2. 家庭を中心とした環境への取り組みに関する次の文章の[]の部分に最も適切な語句を入れなさい。

今日のデフレ不況の中、[]経済成長時代を懐かしみ、今のデフレよりいつかはじめても[]の時代の方がましという人がある。一方、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄という持続可能でない社会システムが終わりを迎えた兆候、むしろ社会が変わるチャンスと捉える人もいる。

後者の中には、ものの充足から心の豊かさを重視し、健康と環境を志向するライフスタイルの人々、いわゆる[]ピープルがいる。彼らは猛烈サラリーマンのようなスピード重視ではなく、ゆったりとした[]ライフをめざすと同時に、「必要な物を必要なだけ買う」「ながく使えるものを買う」といった環境に配慮した消費活動を取り、このような消費者は[]と呼ばれている。

3 . 企業倫理に関する次の文章の[]の部分に、最も適切な語句を入れなさい。

近年、多くの環境関連の事故や不祥事が発生しており、法規制も厳しくなっている。

不祥事の発生原因には、組織で定めた[]を守らない、倫理観の低下、遵法精神の低下等があげられる。

不祥事を起こさないように、法をますます厳しくがんじがらめにすれば、それをくぐりぬけようという行為が発生し、さらに法が強化されるという大変窮屈な世界となる。法規制は他律的であるが、倫理は[]的と言われる。その意味で法と倫理は[]関係にある。

企業の活動は、消費者やユーザー、そして[]と呼ばれる利害関係者へ大きな影響を与えている。企業倫理といわれるものは、多種多様であるが、企業の創業者が従業員に対し示した行動規範として[]がある。

4 . 3 Rの取り組みに関する次の文章の[]の部分に、最も適切な語句を入れなさい。

天然資源は有限であり、いつまでも採取し消費できるものではない。しかし産業分野の生産量は増大しており、そのため生産性の向上と共に、製品の[]化や軽量化を進め資源の節約を進めることが肝要である。

製品の[]化や軽量化は、製造時の資源の使用量を削減すると共に、自動車のように[]時のエネルギー消費削減にもつながることになる。

そして自動車が廃車される時、[]の発生を抑制することにもなる。その意味では、重厚長大の時代は去り、製品によってではあるが、今後ますます[]をめざす社会へ進むと思われる。

また製品が長く使用できる性能を持つ[]化も、使用資源の削減と言う意味では大変有効であり、100年住宅の開発・建設も進んでいる。

第7問 (10点×2)

次の記述式問題 (1)及び(2)に答えなさい。

- (1)天然資源の枯渇の原因と枯渇に対する取り組みについて、下記語群の中の語句を選択し、使用して解答欄に記述しなさい。
すべての語句を使わなくても、複数回使用してもかまわないが、使用した語句は解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 人口爆発 大量消費 大量廃棄 オイルショック
サンシャイン計画 省エネ法 再生可能エネルギー
風力発電 ヒートポンプ 燃料電池 太陽光発電
地中熱の利用

- (2)日本の森林の現状について、下記語群の中の語句を選択し、使用して解答欄に記述しなさい。
すべての語句を使わなくても、複数回使用してもかまわないが、使用した語句は解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

【語群】 広葉樹 針葉樹 森林率 林業 外国産の木材
木材価格 風水害 洪水緩和 水質浄化 自給率
森林認証 ウッドマイレージ